

# 桜川二丁目町会

事業名

## 盆踊りを通じた世代間交流及び 多文化交流事業

### 事業概要

- 町会内在住の外国人や地元高校のボランティア部に参加を呼びかけ、「納涼盆踊り大会」を開催。
- 本番前に盆踊り講習会を2回実施し、多くの外国人が参加。当日の踊りの輪にも加わり、他の参加者と交流を深めた。

実施期間 令和5年7月21日～9月16日  
参加人数 約160名  
事業総額 約21万3,500円  
(地域の底力発展事業助成金 20万円)

#### 主な経費(助成対象)

- 物品購入費  
テント  
LED電球  
スズランコード(LED電球用コード)

#### 役割分担

《盆踊り指導係(4名)》町会のリーダー1名、サブリーダー3名が盆踊り練習会を含め踊りの指導を担当  
《会場整備・運営(3名)》町会役員が照明、発電機、テント、進行等の会場整備・運営全般を担当  
《盆踊り周知(5名)》町会役員・町会員がチラシ配布等を担当

#### 事業の開始から終了までの主な流れ

令和5年  
7月21日 初回打合せ。練習日、当日のスケジュール、担当者を決定。  
8月10日 盆踊りの練習日を周知  
外国人に参加呼び掛け開始  
8月20日 外国人を中心に第1回盆踊り講習会  
集会所の電源でスズランコードとLEDの点灯確認  
8月27日 盆踊り開催を周知  
外国人を中心に第2回盆踊り講習会  
9月9日～10日 納涼盆踊り大会  
9月16日 反省会



外国人に参加を呼び掛けた盆踊り講習会のポスター

## 納涼盆踊り大会

令和5年9月9日(土)、10日(日)の二日間にわたり、納涼盆踊り大会を開催した。開催に先立ち、盆踊り講習会を実施。英語のポスターを作成し、外国人住民にも参加を呼び掛けた。盆踊りには外国人約40人を含む160人が参加。やぐらを囲んで交流をすることで、互いの文化や慣習について理解を深める第一歩となった。

また、今回初めて地元の都立高校に参加を呼びかけた結果、ボランティア部の学生が3名参加。若い世代に町会活動を知ってもらおうきっかけとなった。



外国人も参加した盆踊り講習会



多くの外国人が踊りの輪に加わり、町の人たちと交流を深めた

### 事業による 成果・効果

## 外国人も暮らしやすい環境へ

「町会の納涼盆踊りには、以前から見物に来る外国人がいたため、今年は一步踏み出し、外国人も参加できる講習会を実施しました。外国人が多く住むマンションに英語が入ったポスターを掲示したり、案内チラシをポスティングした結果、講習会に町内の外国人の方々も参加してくれました」と副会長の尾中さん。「盆踊り当日は、多国籍の外国人が参加し、みんな踊りの輪に入って一緒に盛り上がりました。今回の盆踊りが町内に住む多くの外国人を知る機会となり、また外国人の方々も町内の住民を知るいい機会となったと思います。今後は、町会の行事案内を英文化し、マンション掲示板に掲示することを考えていきたい。相互理解を深めることで、外国人も暮らしやすい環境につなげたい」と語る。

### 事業を振り返って

## 若い世代が参加しやすい工夫を

戸建て住宅やマンションが増え続けている桜川二丁目町会。町会では、盆踊りの他スイカ割りやハロウィンなど子育て世帯が楽しめる催しを継続して実施するとともに、小学校の登校班のリーダーを通じて町会の年間行事の周知を依頼。子供の参加のハードルを下げることで、親や祖父母の参加も促している。「引っ越してきた住民の方も、町会がどんなところだろうと盆踊りなどの行事を見に来て、好印象を持ってきているのだらうと思います」と副会長の尾中さん。その結果、近年新築戸建てに引っ越してきた15世帯のうち、1世帯を除く全世帯が町会に加入している。

「これからは若い世代が受け入れやすいデジタルでの情報提供を工夫していきたい。来年はオンライン役員会を実施して多忙な現役世代役員も参加しやすくし、YouTubeでの視聴もできるようにしたい」と抱負を語る。